

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和4年度 第6号 R4.6.20(月)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「学び合い」

今年度、本校の授業改善のテーマは「学び合い」です。これは昨年度、先生たちが本校の生徒の学力を分析し、「子どもたちにつけたい力は何だろう」というところからはじめ、授業をより充実させ、生徒の学力を伸ばすために考えたテーマです。

現代の「学力観」は随分変化してきました。もちろん「学び」の基盤になる読むこと、書くこと、話すことや四則計算などは昔も今も変わりません。しかし、社会では習った知識や技能を実生活で活用する力のある人材が求められています。生徒にその力をつけるためには教師から教えてもらうだけでなく、友達の意見を聞いたり、知恵を出し合ったり、他の教科で習ったことと結び付けて考えを深め、そこからまだ知らないことに興味を広げていくことが大切なのです。このような授業の改革は日本全国で進められています。まさに「授業」は「教える」から「学ぶ」に舵を切っているところなのです。近年、コロナ禍で国の GIGA スクール構想が一気に進み、一人一台端末が全員に行き渡り、授業の ICT 活用も急激に進みました。今先生たちにも新たに必要とされている知識や技術があります。これらは先生同士で日々研修し、学び合っています。これから「生徒の学び合い」のために「先生が学び合う」様子をこの通信でお伝えできたらと思っています。

トイレから見える「社会人基礎力」

先日、いつもトイレの清掃をしていただっている業者の方とお話ししました。気さくな方で、子どもたちの様子もよく見てくださっていて、気づいたことなどがあればきちんと報告してくださいます。そんな会話の中で聞いた話ですが、トイレの使い方でも一番マナーが良いのは4階の男子トイレだそうです。特にスリッパがちゃんと整っていると褒めていただきました。嬉しいことです。

以前、ある子がトイレに入るときは一番乱れているスリッパを履き、出るときに揃えて脱げば、一つきれいになると言っていました。大勢の人が使う場所だからこそ、次の人のことを考えてスリッパを揃えておくという心配りは素敵ですね。

旬(しゅん)

我が家のサクランボの木は毎年数個だけ実がなります。徐々に色づき、週末に収穫しようと楽しみにしていたのに、鳥が一番おいしいタイミングで食べてしまい、今年も私の口には入りませんでした。物事には旬というのがとても大事です。

子どもが色々なことを身につけていくのにも旬があります。「善・悪」を覚えるのは0歳から3歳、そして「挨拶」や「宿題をする」や「時間を守る」などの「より良い行動」を覚えるのは6歳から12歳だそうです。この時期だと楽に身につけて、その時期を逃すと覚えるのに非常に大きなエネルギーを要するといえます。本校の生徒たちの中には、いいタイミングを逃して困っている子もいます。しかし、たとえ旬を逃しても一生の長さを考えると、これらができるようになるための努力は人生の投資といえるのではないのでしょうか。私たちは踏ん張る子どもたちを精一杯支援していきたいと思っています。